

令和7年度 学校評価シート（定時制まとめ）

			自己評価				学校関係者評価		
※評価基準(4:良い、3:やや良い、2:やや悪い、1:悪い / A:4.0～、B:3.0～、C:2.0～)⇒			R7末	R7中	R6末	評価	意見・要望・改善案	評価	コメント
【1】 学校運営	1	重点目標に基づいた教育活動ができるよう分掌への働きかけは適切であったか	3.7	3.2	3.5	A	各種会議の運営が適切に行われるような環境醸成に努めていきたい。また、今後「働き方改革」をさらに進めるうえで、業務分担に関するアンバランスが生じないよう校内組織の編成に配慮したい。	A	(特になし)
	2	教職員の教育活動に対する取り組みへの協力は適切であったか	3.7	3.2	3.6	A			
	3	運営委員会・職員会議・課程会議の運営は適切であったか	3.7	3.5	3.6	A			
	4	校内組織の編成は適切であったか	3.7	3.1	3.3	A			
【2】 総務	5	年間行事を、全日制・通信制・各分掌と調整し、適切に計画したか	3.5	3.3	3.3	A	各分掌との連絡調整に努め、相互理解による学校行事の円滑な運営 今年度は、振り返りのアンケートをさらに増やした。よりよいものになりたいので応答のご協力をお願いします。今年度の記録、検証にしたい、早めの準備を行いたい。 危機管理意識の高揚 防災訓練は、消防署との調整を行ったりモバイルバッテリー火災のような流行の事案を取り扱ったりすることができた。防犯訓練は、インターハイの影響で初めて多目的教室のみで行った。警察に依頼し協力を得て実施できた。今後も防災訓練は、消防署や市役所と連携をして実施したい。 円滑な情報処理と適正な情報管理及び発信 各行事(企画)が終了することに先生方に協力いただき、ホームページによる情報発信は充実してきている。必要な情報発信は、常に早目に提供できるように工夫していきたい。配信アプリも適宜活用できている。	A	・授賞式、卒業式はすばらしかった。卒業生、在校生ともに多く出席していた。 ・定時制授賞式の生徒のあいさつがよかった。感動的でした。 ・大規模な自然災害に対応できる、また支援する力を身に付けてほしい
	6	儀式的行事の運営は適切だったか	3.6	3.4	3.5	A			
	7	奨学金制度についての広報及び手続は適切だったか	3.6	3.2	3.6	A			
	8	教員及び生徒の危機管理意識を向上させることができたか	3.6	3.1	3.4	A			
	9	HPへの記事掲載が頻繁に行われるよう、行事等担当者への働きかけは適切であったか	3.3	3.2	3.2	A			
【3】 教務	10	出席率を向上させるための働きかけは適切であったか	3.1	3.2	3.3	A	「主体的で対話的で深い学び」を通じた確かな学力(ダヴィンチ・ゴールズ)の育成 授業評価アンケートを継続的に行い、授業改善に努める。授業互見を活発にしたい。教員だけでなく、生徒の端末利用の促進(Classroom等)にも努めたい。生徒図書委員の活用や、授業での図書館利用の促進から図書館の利用促進を図りたい。 通信制、全日制との連携 全日制総務部、教務部、体育科など校舎(体育館)使用について年度当初に確認するとともに、定期的な確認を行う。 教育課程、教務規程・内規の検証 規程の改定等は教務内で計画したが、課程(運営、職員)会議の提出までできなかった。令和8年度には年度当初から取り組みを進めたい。	A	・生徒、保護者の学校に対する満足度がとても高い。 ・中学校まで不登校だった生徒が高校に毎日通い、卒業している姿は大変に立派である。
	11	生徒の出欠・成績に関する共通理解を図るための情報提供は適切であったか	3.7	3.4	3.4	A			
	12	年間曜日設定及び曜変により、バランスのとれた授業時数の確保につなげたか	3.7	3.3	3.6	A			
	13	授業実施において、通信制・全日制との調整を適切に行ったか	3.6	3.4	3.4	A			
	14	図書館及び蔵書の管理は適切であったか	3.6	3.5	3.6	A			
	15	生徒が積極的に読書するよう、適切な働きかけを行ったか	2.8	2.9	3.3	B			
【4】 生徒	16	生徒にTPOに応じた身だしなみやふるまい・マナーを意識させることができたか	3.3	3.1	3.1	A	基本的生活習慣の確立 クラス担任や教科担任等はとても協力的である。今後も協力しながら開終礼、HR活動、各種行事等を通じ粘り強く指導していきたい。あわせて毎日の教員終礼や毎週行う課程会議、生徒理解研修やケース会議等、生徒一人一人について細やかに情報共有を行い、全教職員で共通理解を図り生徒の指導・支援に当たりたい。 生徒理解と指導・支援の充実 毎日の教員終礼や毎週行う課程会議、生徒理解研修やケース会議等、生徒一人一人について細やかに情報共有を行い、全教職員で共通理解を図り生徒の指導・支援に当たりたい。校内では特別支援教育コーディネーターや保健部(養護教諭)と連携を図り、必要に応じて外部機関も活用することで、保護者と生徒の思いや願いに丁寧に寄り添い支援を行っていきたい。 生徒会活動や各種行事の充実 生徒会執行部の生徒を中心に各種行事の企画・運営を行い、学校全体の連帯感の醸成を図るとともに、生徒個々の充実感や意欲向上、生徒同士の人間関係構築につなげていきたい。また生徒部以外の教員にも委員会担当に就いてもらい、教職員・生徒が一体となって各種委員会活動に取り組むことで、学校全体の活力にするとともに、生徒の自己有用感も高めていきたい。	A	・校内及び外部機関との連携をより一層密にして生徒の成長を見守ってほしい(現状でもよくやっておられます)。 ・地域との交流ができる活動、取組を増やしてほしい。
	17	生徒会執行部の活動をはじめ、各種委員会活動を活性化させることができたか	3.7	3.6	3.4	A			
	18	生徒会行事がスムーズに運営できたか(総会、交流会、スポーツ大会、送る会)	3.6	3.5	3.4	A			
	19	安全・安心な学校づくりのために、いじめ防止に努めたか(アンケート、生徒理解)	3.5	3.4	3.4	A			
	20	人権・同和教育は計画的に推進されたか(推進委、HR活動、たより、教職員研修等)	3.6	3.4	3.5	A			
	21	道徳教育は計画的に推進されたか(ふるまい推進、コミトレ、教職員研修等)	3.6	3.5	3.3	A			
	22	定時制通信制の連携のとれた進路指導体制を構築できたか	3.6	3.5	3.5	A			
23	4年間を見通した進路計画が作成できたか	3.6	3.4	3.4	A				
24	インターンシップは適切に行われたか	3.7	3.6	3.6	A				
25	担任が進路指導ができるよう、適切な情報を提供したか	3.6	3.3	3.4	A				
26	進路行事(進学・就職説明会、企業・学校見学、進路ガイダンス)の内容は適当なものであったか	3.7	3.5	3.5	A				
【6】 保健	27	心と体の健康講座のテーマと時期の設定は適切であったか	3.6	3.4	3.5	A	生徒の心身への興味関心を引き出し、生徒が自ら学ぼうとする意欲を高める指導 4講座[性教育、食育、アロマ、心の健康教育]を外部講師を招聘して計画どおり実施し、生徒の健康への興味関心を喚起することができた。がん教育は、通信制の生徒も参加できるように期日を設定する。 生徒が自分の健康状態を把握するための支援 今後も要受診の生徒には、担任とも連携しながら受診の目的や必要性を丁寧に説明する等、本人・保護者に個別の働きかけを積極的に行う。 相談支援を通して、将来の目標が具体的に持てるようなかかわり 教育相談員、SC・SSWと継続的な面談を行い、日々の生活を立て直すことができた生徒が複数いた。今後は生徒が安定した学校生活を送ることができるよう、SC、SSW、教育相談員の計画的な活用を行う。また担任をはじめ副担任・教科担任・管理職と当該生徒に関する情報共有を丁寧に行い、全教職員で組織的に生徒の支援を行う。	A	ボランティア経験等で自信をつけてほしい
	28	健康観察、健康診断による健康状態を把握し、生徒が自己管理できるように働きかけたか	3.7	3.5	3.5	A			
	29	SC、教育相談員など人的援助の活用と関連機関との連携を図り、相談・支援事業の充実につなげたか	3.7	3.5	3.6	A			
	30	(特支)関係者・外部団体と連携し、情報交換会を開催したか	3.3	3.4	3.5	A			
	31	(特支)研修は適切だったか	3.4	3.4	3.3	A			
【7】 ルーム	32	日々の学習に真面目に取り組んだか	3.0	3.0	3.3	B	生徒の心身への興味関心を引き出し、生徒が自ら学ぼうとする意欲を高める指導 4講座[性教育、食育、アロマ、心の健康教育]を外部講師を招聘して計画どおり実施し、生徒の健康への興味関心を喚起することができた。がん教育は、通信制の生徒も参加できるように期日を設定する。 生徒が自分の健康状態を把握するための支援 今後も要受診の生徒には、担任とも連携しながら受診の目的や必要性を丁寧に説明する等、本人・保護者に個別の働きかけを積極的に行う。 相談支援を通して、将来の目標が具体的に持てるようなかかわり 教育相談員、SC・SSWと継続的な面談を行い、日々の生活を立て直すことができた生徒が複数いた。今後は生徒が安定した学校生活を送ることができるよう、SC、SSW、教育相談員の計画的な活用を行う。また担任をはじめ副担任・教科担任・管理職と当該生徒に関する情報共有を丁寧に行い、全教職員で組織的に生徒の支援を行う。	A	・生徒自身(保護者も含めて)の満足度が高いことは特に評価される。すぐに成果が出ないものもあるが、引き続ききめ細やかな指導、支援をお願いしたい。 ・難しいなか、日々の生徒の関係づくりに努力されていることがわかりました。 ・中学校で特別支援学級の生徒が高校へ進路を希望することも多く、多様な生徒への対応が大変であると思われる。
	33	時間を守ることができたか	2.9	2.9	3.1	B			
	34	挨拶ができるようになったか	2.9	2.9	3.1	B			
	35	TPOに応じた言葉遣いができるようになったか【2、3年次のみ】	3.1	2.8	3.2	A			
	36	下級生の模範となる行動ができるようになったか【3、4年次のみ】	2.9	2.7	2.6	B			
	37	「自律」できるようになったか【4年次のみ】	2.7	2.7	2.6	B			
【15】 事務	38	効率的・効果的な予算執行	3.3	3.3	3.5	A	予算執行等は、計画的かつ厳密に行われている。年2回会計関係者会を開き、会計業務を確認している。また施設設備の補修・保全も事務部が計画的に行っている。	A	(特になし)
	39	迅速・的確な施設設備の補修・保全と教育環境の整備	3.3	3.3	3.6	A			
	40	事務部と教員の円滑な連絡・調整	3.4	3.3	3.6	A			